

しもおく奈歩



おかしな校則は 見直す必要があるのでは？

説明できない校則などは！

今年度末までにすべての県立高校で見直す



12月県議会
教育スポーツ委員会

しもおく県議の質問に県教育委員会が答えました。

県立高校150校公開します ～高校の校則HP公開～

岐阜県立高校 65校すべて公開

三重県立高校 56校すべて公開

愛知県立高校 公開 74校/150校(全日制)
残りも年度内に公開

私立高校 公開 1校/55校
(愛知県内) 年度内に20校公開予定

名古屋市立高校 年度内公開を促す(12月時点)

「子どもの権利」を尊重し
校則見直しには生徒の参加が
必要では？



子どもの権利条約の
4原則が重要。
生徒の参加で校則
を見直すとくみをは
じめました。



子どもの権利条約 4原則

- 差別の禁止
- 子どもの最善の利益
- 生命と発達の保障
- 意見表明の権利

声をあげれば校則は変えられる！

一宮工科高校では、
生徒や職員にアンケートを実施
●頭髪の染色や化粧を一定程度認めるといった
新しい校則の案ができました！

●試験的に運用しその
後、新しい校則を
ブラッシュアップし
ていく予定です。

足助高校では、昨年度から
今年にかけて生徒が主体となって
校則を考える

ルールメイキング プロジェクト

が立ち上がりました。
制服やスマートフォンの取り扱いなどに
ついて、校則の見直しに取り組んでいます。

校則があると 「監視されているようで疲れる」

こんな校則おかしくない？

(しもおく県議に寄せられた高校生の声から)

- ツーブロックなど特定の髪型の禁止。
- パーマ、カール、エクステ等は認めない。
- 下着の色をチェックされた。



次ページ

しもおく県議が高校生と懇談しました！



ちよっと待った



県民の声を聞いてください

県議会12月定例会は一般会計で603億5400万円に
のぼる二つの補正予算を賛成多数で可決しました。
しもおく議員は20日、本会議討論で問題点を指摘しました。

6点に
反対！



住民怒る

中学生からの負担押し付けやめて

③ 三つめに、中学生以上から1500円の使用料を徴収するジブ
リパークの「魔女の谷のみえる展望台」の有料化に反対です。
監視委員の配置などへの支出(約640万円)は県で十分負担
できます。

4名古屋高速道路「新洲崎ジャンクション」 新出入口設置費の増額に待った！

④ 四つめに、名古屋高速道路の新洲崎ジャンクションへの新出
入口設置費の増額(428億円から1,098億円)は問題で
す。リニア開業が前提で、県民負担増のおそれがある計画です。

5返さなくてもよい奨学金に

⑤ 五つめに、高校生に貸与した奨学金の返還遅延者を裁判に訴
えるのは問題です。給付型への改善こそ必要です。

追加補正予算のうち、県立学校や私学・保育園などでの給食
費補助を一人一食60円から100円に引き上げることなど物価
高騰への対策は評価します。

6不要不急の大型事業はストップ

⑥ しかし、西知多道路や設楽ダムなど不要不急の大型事業推
進の予算が計上されており賛成できません。



豊橋市に署名等を提出する
市民団体のみなさん

再度の住民投票を求める
署名が2022年の署名を
上回る18,732筆(提出
時点)になりました。市民説
明会も開かず新アリーナ計
画を強行する市への批判の
表れであり、建設は立ち止
まるべきです。市民合意を
得た計画でなければ県は補
助すべきではありません。

2県の特別職の手当引き上げ！

二つめに、知事など特別職の期末手当引き上げです。物
価高で県民生活がたいへんな時です。特別職の手当引き上
げは認められません。

能登半島地震 救援募金を呼びかけ

1月1日に発生した最大震度7の能登半島地震。尊い命が奪われ、多くの方が住まいを
失い不自由な避難生活を余儀なくされています。日本共産党は、避難所の生活環境の改
善、みなし仮設住宅の確保、原発に関する情報公開などを政府に申し入れると共に、しも
おく県議を先頭に、被災者救援募金を呼びかけています。



各種SNSは
こちらから / 公式LINEへ
ご登録を！



日本共産党県議会報告 2024年2月 ご意見・ご要望をお寄せください。

〒460-0007 名古屋市中区新栄3丁目12-25 TEL:052(262)1070 FAX:052(262)1071 kengidan@outlook.jp
http://jcp-aichi-kengi.jp/ 質問や討論の全文はHPに掲載しています 発行:日本共産党愛知県議会議員団

私たちが変える！理不尽な校則

高校生としもおく県議が懇談

1月13日、しもおく県議は民青同盟の仲間とともに愛知県内の高校生16人と校則について語り合いました。しもおく県議は、12月定例議会で校則について質問したことを伝え、「校則についてどう感じているか教えて」と高校生にたずねました。深刻な実態が次々と明らかにになりました。

理不尽な校則は、健康や人権にかかわる問題です。「子どもの権利」への理解を広げて改善したい。議会でもがんばります。一緒に変えていきたいと思います。



高校生と懇談するしもおく県議

理不尽な校則

深刻な実態が次々と

- 女子だけ一足千円もする指定の靴下。ジェンダー平等にも反する
- コートも指定ですごく高い 寒いのにガマンしている友達も
- アウター(上着)は禁止。寒くてもガマンしなきゃいけない
- 先生も校則をわかっていない。先生それぞれ言うことが違う
- 先生も説明できないような校則は変えてほしい
- 入学してから校則の説明を受けたことがない
- 校則を公開し入学前に見れるようにして

高校生の感想

懇談を終えて...

- 自主性を大事に、と言いながら真逆の校則がある。自分たちで変えたい
- 高校生の声を聴き、校則問題を議会できりあげてくれた議員がいることに安心した
- モヤモヤしていること、疑問に思っていたことが話せ、未来が明るくなった
- 自分の学校にも校則公開を提案してみたい
- 制服改革の活動に行き詰まっていたのですが、あきらめずに進んでいきたい

あなたの校則を3つのポイントでチェックしよう

- ✓ 差別や人権侵害になっていないか
- ✓ 経済的な負担を強いていないか
- ✓ 合理的に説明できないものがないか

生徒の声を反映させた見直しをすすめよう



しもおく奈歩

4人が賛成



12月定例県議会で、しもおく議員は12件の請願に賛成しました。私学助成に関する3件は全会一致で採択されましたが、それ以外の9件はいずれも自民・あいち民主・公明・減税日本などが反対し、賛成少数で否決されました。


採択されなくても請願には大きな力があります。「請願」は住民からの意見や要望を文書で提出するものであり、議案として正式に審議の対象となり、政策に反映すべきかどうかを議会や行政に迫るのです。

75年ぶりの保育士配置基準の改善へつながる

愛知から始まった「子どもたちにもう一人保育士を！」の運動が広がるなか、愛知県議会は6月定例議会で、「子どもたちの健やかな成長を守るための保育体制の整備についての意見書」を全会一致で採択。

12月議会では、270,794人の賛同署名が添えられた「保育・学童保育施策の拡充と75年ぶりの保育士配置基準改善を求める」請願に、しもおく議員をふくむ無所属・一人会派の議員4人が賛成しました。不採択にはなりませんが、請願署名に込められた願いは大きく前進しています。

新年度に向けて、ついに国は75年ぶりの保育士配置基準を改善することを表明したのです。

4人が賛成	2人が賛成
愛知県に『保育・学童保育施策の拡充と75年ぶりの保育士配置基準改善を求める』	国に対し、連絡請求書等保存方法(インボイス制度)について延期も含めて慎重に対応することを求める
	『消費税5%引き下げを求める意見書』採択を求める
	『インボイス制度即時廃止を求める意見書』採択を求める
	予防接種健康被害救済制度周知
	コロナワクチン接種に注意が必要な人に関する周知
	すべての子どもたちにゆきとどいた教育をすすめ、心のかよう学校をつくる
	日本政府に核兵器禁止条約の参加・調印・批准を求める意見書提出を求める

4年に1回しか質問させない県議会はおかしい!

インボイス制度を考えるフリーランスの会 STOP!インボイス 愛知支部

インボイス中止の請願に取り組む、普通の市民県民でも政治に声を届けることができる、とわかりました。私たちの請願に賛成してくれた議員が4年に1回しか本会議質問できないなんてあまりに理不尽です。私たちの声をもっと届く議会になってほしい。



生田 恵子さん



廣瀬 仁亮さん

少数派の発言権を制限しては、小さな声が届かない議会になってしまふ。この危機感を知らせたいと思い、請願を出し、委員会審議を傍聴しました。多様な声に耳を傾けようと思わない多数派の姿勢は問題ありすぎです。

可視化して、みんなに知ってほしい

「『無所属議員や一人会派議員の本会議での一般質問に関して任期中に1人一回以内、各定例議会につき1人以内とし、任期最終年度の2月定例議会は行わないこととする』という愛知県議会議事録の改訂または撤廃を求める」請願も、提出者の声を紹介しします。

愛知県 奨学金返還を支援する中小企業へ補助

愛知県は新年度から、従業員の奨学金返還を支援する中小企業を対象にした新たな補助制度を創設します。補助対象となる企業からの申請と登録が始まりました。奨学金を返還する従業員に最大で年間20万円を3年間、支援する予定です。

若者応援 日本共産党 10年前からの提案が実現

日本共産党は、名古屋市議団が2013年から奨学金返還支援制度の導入をくりかえし提案。県議会では、しもおく奈歩県議が2015年、2016年に本会議一般質問でとりあげてきました。若い世代を苦しめる奨学金の返還を支援し、中小企業の人材確保にも役立つ、と提案して10年。粘り強い取り組みで、愛知県も動き出しました。

奨学金返還支援制度が設けられている自治体

名古屋市、豊橋市、豊川市、春日井市、稲沢市、一宮市、みよし市、新城市、蒲郡市、設楽町、大口町、豊根村(支援額や対象は自治体により異なります)

シールアンケート実施中 一校則見直しの声も

しもおく奈歩県議は豊橋駅前でほぼ毎週シールアンケートを実施中。「アリーナで豊橋公園の樹木が伐採されるのはいや。」「我が家は事実婚。選択的夫婦別姓をぜひ。」「親に学費を払ってもらった。学費は半額に!」「裏金づくりやってる政治家ではダメ!」との声も。ここで寄せられた声も質問につながりました。



戦争反対!の申し入れ

しもおく奈歩県議と日本共産党愛知県委員会は、11月30日、「イスラエルのガザ攻撃中止、停戦を」と知事に申し入れました。愛知県議会は61年前に「平和県宣言」を議決しています。平和を願う愛知県として、イスラエルの国際法違反に抗議し、人道支援に取り組むように訴えました。



県営住宅に手すり設置

豊川市の県営御油住宅、エレベーターがない5階建ての住宅には手すりもありませんでした。居住者の高齢化も進み、転倒事故まで発生する事態に。しもおく奈歩県議は日本共産党豊川市議団と、昨年10月に住民の声を県当局に伝えて改善を要請しました。それから2か月、「階段に手すりがついたよ!」とうれしい報告がありました。

